

江津の街づくりを考える会が開催されました

右側の石畳の写真がどこかおわかりになりますか？

2月20日（金）、パレットごうつにおいて「第5回 江津の街づくりを考える会」が開催され、建築・電気科の1・2年生のメンバーが参加しました。下村明雄様から「江津市の歴史の魅力を考える」というテーマで地域の歴史遺産について教えていただきました。「どんな素晴らしい文化財でも、その価値は人が決めるのであるから、素晴らしいものが文化ではなく、素晴らしいと思える人の心が文化である。」「歴史遺産を全部残すのは無理な場合が多いが、一部分でも残せば役に立つ。」「歴史遺産についてなぜこれがあるかという背景を考えることが大切。」等のお話をいただきました。



また、本会代表の今井聖造様より、「歴史をかなり学んできて、知識が深まった。江津工業高校の生徒のみなさんには、自分たちがどう参画すれば街づくりが良くなるか考えて欲しい。可能なら、川戸駅舎や江津駅舎の活用を考えて欲しい。」というお話もいただきました。

次回は3月19日に山陰道について学びます。

最初の質問にもどりますが、石畳は100年以上前に設置されたものが部分的に残っています。部分的にでも残っているからこそ、100年前が想像できます（下村先生のお話の通りです）。当時は水はけの悪い場所だったようです。この場所の答えは一番最後の写真として載せてあります。



SNSにも掲載します

